

事業の目的 群馬県の子どもがいつでも適切な医療を受けられ、子どもの健康が増進されるようにすること

- 事業の内容
- ①感染症蔓延時や災害時の小児内分泌代謝疾患の診療連携体制を維持すること
 - ②希少疾患である小児内分泌代謝疾患を群馬県民やかかりつけ医へ周知啓蒙すること
 - ③新生児スクリーニング該当疾患を周知啓蒙すること

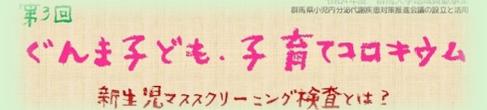
小児内分泌代謝疾患の診療連携会議

県内で小児内分泌代謝疾患を診療する医師や医師会と繋がり、感染症蔓延下や災害時における診療機能維持体制の構築と維持を行う。医師向けの教材作成も行う



ぐんま子ども・子育てコロキウム（市民公開講座）

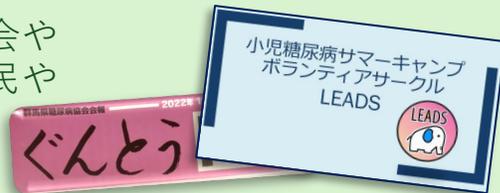
子育てに関与する多職種・多機関と連携を図りながら市民公開講座を実施する



群馬県小児内分泌代謝疾患対策推進会議の持続的な発展 小児内分泌代謝疾患の啓蒙と病診連携の推進による子どもの健康増進

群馬小児糖尿病の会（患者会）の支援

医療支援だけでなく、糖尿病協会や県教育委員会とともに、一般市民や学校教員への啓蒙を行う



新生児オプショナルスクリーニングの支援

今年度から群馬県のスクリーニング体制が大きく変化した。いずれも希少疾患であるため、県行政や群馬県健康づくり財団とともにスクリーニングの啓蒙と普及をすすめる



今年度の
ポイント

子どもが1日の大半を過ごす学校関係者への啓蒙は、疾患マネジメント改善にも繋がる
→ 学校関係者への啓蒙活動に注力する